

設定直後、基準価額は小幅上昇でスタート

米国ネクストビジョンファンド(為替ヘッジあり)/(為替ヘッジなし)
追加型投信／海外／株式

2021年11月1日

【基準価額】

10月25日に設定した米国ネクストビジョンファンド
(以下、当ファンド)の**基準価額は10月29日現在、
為替ヘッジありが10,047円、為替ヘッジなしが
10,032円**となっています。

為替ヘッジあり	為替ヘッジなし
10,047円	10,032円

(注) 投資先ファンドの基準価額算出のための評価価格とNY市場の終値が異なるため、日々の基準価額の動きは米国株式市場の動きと異なります。

【米国株式市場の動き】

当ファンド設定後の米国株式市場は、多くの米国企業が事前予想を上回る良好な内容の7-9月期決算を発表したことが好感され、10月25日から26日にかけて主要株価指数が過去最高値を更新しました。高値警戒感から株価調整の動きが見られたものの、好業績期待が再び高まり、28日は上昇する展開となりました。

セクター別で見ますと、一般消費財・サービスセクター（GICS基準）が株式市場を牽引する展開となりました。これは、電気自動車（EV）大手のテスラが、業績拡大期待から株価が大きく上昇し、時価総額が1兆ドルを突破したことが背景にあります。

【ドル／円の動き】

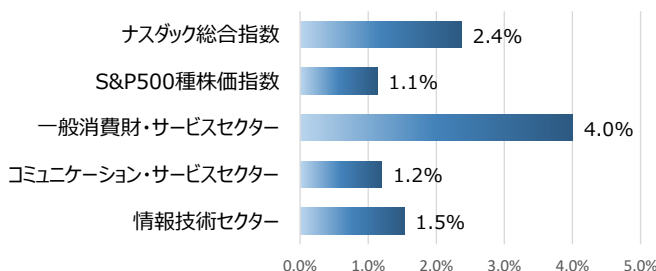
為替（ドル／円）につきましては、10月26日にかけては、米国金利や資源価格の上昇などを背景に円安・ドル高の動きが続きました。しかしその後は、急激なドル／円上昇への反動から一服感が浮上し、円買いの動きが強まりました。

為替が円高となったことを受けて、ヘッジありの基準価額がヘッジなしの基準価額を上回って推移しています。

図表1. S&P500種株価指数の日中推移
(10月25日9時30分～10月28日16時14分、NY時間)

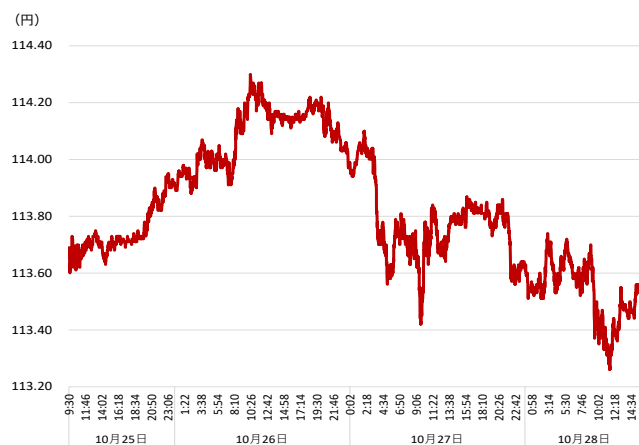


図表2. 主要セクターの騰落率
(10月22日終値～10月28日終値)



※セクターは、GICS基準（世界産業分類基準）で表示しております。

図表3. ドル／円の日中推移
(10月25日9時30分～10月28日16時15分、NY時間)



(出所) 図表1～3は、Bloombergデータより岡三アセットマネジメント作成

本資料では「米国ネクストビジョンファンド(為替ヘッジあり)」「米国ネクストビジョンファンド(為替ヘッジなし)」を総称して「当ファンド」といいます。投資先ファンドはルクセンブルグ籍外国投資法人「JPMorgan・ファンズーUSテクノロジー・ファンド」(外国籍、日本での取扱いはありません。)であり、当ファンドはそのシェアクラスである「JPMorgan・ファンズーUSテクノロジー・ファンド(Iクラス)(円建て、円ヘッジ)」「JPMorgan・ファンズーUSテクノロジー・ファンド(Iクラス)(円建て)」に投資します。

＜本資料に関してご留意いただきたい事項＞

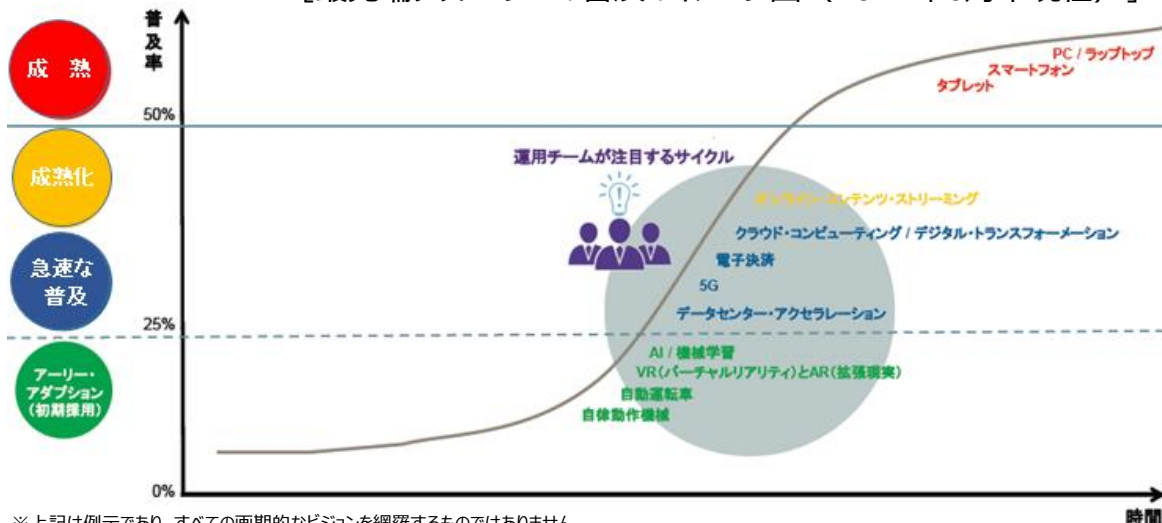
■本資料は情報提供を目的として岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものではありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託の取得の申込みに当たっての投資判断はお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。

米国ネクストビジョンファンド(為替ヘッジあり)/(為替ヘッジなし)
追加型投信/海外/株式

【投資先ファンドの運用】

当ファンドが主要投資対象としている「JPモルガン・ファンズ―USテクノロジー・ファンド（Iクラス）」では、急速な普及から成熟化途中のステージにある、市場の拡大ペースが速い製品やサービスに注目し、それらを提供しているテクノロジー関連企業を中心に銘柄選択を行っています。こういった企業には中小型株も多く、中小型株にも積極的に投資していることがリターンのも源泉の一つとなっています。また、一つのテーマではなく複数のメガトレンドを追求していくことで、テクノロジーセクターの成長全体を捉えることができると考えます。

〔最先端テクノロジーの普及のイメージ図（2021年6月末現在）〕

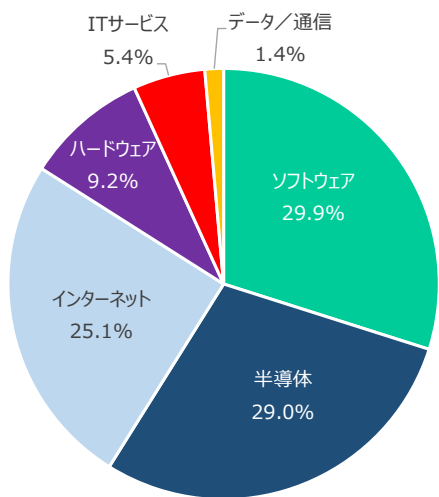


※上記は例示であり、すべての画期的なビジョンを網羅するものではありません。

（出所） J.P.モルガン・アセット・マネジメント資料、各種資料より岡三アセットマネジメント作成

ご参考：投資先ファンドのポートフォリオの状況（2021年9月末現在）

〔業種別構成比率〕



〔組入上位10銘柄〕

銘柄	業種	比率 (%)
1 フェイスブック	インターネット	4.4
2 アルファベット	インターネット	4.3
3 アドバンスド・マイクロ・デバイセズ (AMD)	半導体	4.1
4 シノプシス	ソフトウェア	3.1
5 テスラ	ハードウェア	2.9
6 ラムリサーチ	半導体	2.6
7 エスビディア	半導体	2.5
8 アップル	ハードウェア	2.4
9 モンゴDB	ソフトウェア	2.3
10 ツイッター	インターネット	2.1

〔企業規模（株式時価総額）別の構成比率〕

大型株（500億米ドル超）：56.7%
 中型株（100-500億米ドル未満）：37.5%
 小型株（100億米ドル未満）：5.8%

※上記は本資料における分類です。

※業種は、J.P.モルガン・アセット・マネジメント独自の分類 ※構成比率は、投資先ファンドの組入有価証券を100%として算出 ※四捨五入しているため、合計が100%とならない場合があります。 ※上記は、個別銘柄の推奨を目的として示したのではなく、当該銘柄の株価の上昇および投資先ファンドへの組入れを保証するものではありません。

（出所） J.P.モルガン・アセット・マネジメント資料を基に岡三アセットマネジメント作成

J.P.モルガン・アセット・マネジメントは、JPモルガン・チェース・アンド・カンパニーおよび世界の関連会社の資産運用ビジネスのブランドです。

（作成：運用本部）

＜本資料に関してご留意いただきたい事項＞

■本資料は情報提供を目的として岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものではありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託の取得の申込みに当たっての投資判断はお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。



米国ネクストビジョンファンド(為替ヘッジあり)/(為替ヘッジなし)
追加型投信／海外／株式

米国ネクストビジョンファンド(為替ヘッジあり)/(為替ヘッジなし)に関する留意事項

【岡三アセットマネジメントについて】

商号：岡三アセットマネジメント株式会社

岡三アセットマネジメント株式会社は、金融商品取引業者として投資運用業、投資助言・代理業および第二種金融商品取引業を営んでいます。登録番号は、関東財務局長（金商）第370号で、一般社団法人投資信託協会および一般社団法人日本投資顧問業協会に加入しています。

【投資リスク】

- 投資者の皆様は投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。投資信託は預貯金と異なります。投資信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者の皆様へ帰属します。ファンドは、米国の株式等値動きのある有価証券等に投資しますので、組入れた有価証券等の価格の下落等の影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、外貨建資産に投資しますので、為替相場の変動により損失を被ることがあります。
 - ファンドの主な基準価額の変動要因としては、各ファンド共通のリスクとして「株価変動リスク」、「信用リスク」、「カントリーリスク」、各ファンド個別のリスクとして「為替変動リスク」があります。
- ※ 基準価額の変動要因は上記のリスクに限定されるものではありません。

【その他の留意点】

- ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリングオフ）の適用はありません。
- 投資信託は預金商品、金融債、保険商品ではなく、預金保険、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、登録金融機関が取扱う投資信託は、投資者保護基金の対象とはなりません。投資信託の設定・運用は投資信託委託会社が行います。
- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、ファンドの純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。分配金は、計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合があるため、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。また、投資者の購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりがあった場合も同様です。
- 投資対象とする投資信託証券にかかる購入・換金申込みの受付の中止および取消、取引所における取引の停止、外国為替取引の停止、決済機能の停止、その他やむを得ない事情があるときは、購入・換金申込みの受付を中止することや、すでに受けた購入・換金申込みの受付を取消することがあります。
- 詳しくは、「投資信託説明書（交付目論見書）」の「投資リスク」をご参照ください。

【お客様にご負担いただく費用】

＜お客様が直接的に負担する費用＞

- 購入時
 - 購入時手数料：購入金額（購入価額×購入口数）×上限3.30%（税抜3.0%）
詳しくは販売会社にご確認ください。
- 換金時
 - 換金手数料：ありません。
 - 信託財産留保額：ありません。

＜お客様が信託財産で間接的に負担する費用＞

- 保有期間中
 - 運用管理費用（信託報酬）
：純資産総額×年率1.298%（税抜1.18%）
運用管理費用（信託報酬）の実質的な負担
：純資産総額×年率1.948%程度
実質的な負担とは、ファンドが投資対象とする投資信託証券の信託報酬を含めた報酬です。なお、実質的な運用管理費用（信託報酬）は目安であり、投資信託証券の実際の組入比率により変動します。
- その他費用・手数料
 - 監査費用：純資産総額×年率0.0132%（税抜0.012%）
- 有価証券等の売買に係る売買委託手数料、投資信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用、海外における資産の保管等に要する費用、受託会社の立替えた立替金の利息、借入金の利息等を投資信託財産でご負担いただきます。また、投資対象とする投資信託証券に係る前記の費用等を間接的にご負担いただきます。
- お客様にご負担いただく費用につきましては、運用状況等により変動する費用があることから、事前に合計金額もしくはその上限額またはこれらの計算方法を示すことはできません。
- 詳しくは、「投資信託説明書（交付目論見書）」の「手続・手数料等」をご参照ください。

米国ネクストビジョンファンド(為替ヘッジあり)/(為替ヘッジなし)
追加型投信／海外／株式

2021年11月1日現在

販売会社

受益権の募集の取扱い、投資信託説明書(交付目論見書)、投資信託説明書(請求目論見書)及び運用報告書の交付の取扱い、解約請求の受付、買取請求の受付・実行、収益分配金、償還金及び解約金の支払事務等を行います。なお、販売会社には取次証券会社が含まれる場合があります。

商号	登録番号	加入協会			
		日本証券業協会	一般社団法人 日本投資顧問業協会	一般社団法人 金融先物取引業協会	一般社団法人 第二種金融商品取引業協会
(金融商品取引業者)					
岡三証券株式会社	関東財務局長(金商)第53号	○	○		○
岡三にいがた証券株式会社	関東財務局長(金商)第169号	○			
阿波証券株式会社	四国財務局長(金商)第1号	○			
野畑証券株式会社	東海財務局長(金商)第18号	○			○
武甲証券株式会社	関東財務局長(金商)第154号	○			

＜本資料に関するお問い合わせ先＞

フリーダイヤル **0120-048-214** (9:00～17:00 土・日・祝祭日・当社休業日を除く)